

## 桃太郎

2022・1・11 校長 重枝一郎

### 新年あけましておめでとうございます

みなさんは、昔話「桃太郎」を知っていますか。「むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へしばかりに、おばあさんは川へせんたくに行きました」というなぜか多くの人が暗記しているフレーズで物語は始まります。川から流れてきた大きな桃の中に元気な男の赤ちゃんがいて、おじいさんたちが桃太郎と名付けて育てるのです。桃太郎はすくすく育て、ある日鬼ヶ島に行って悪い鬼を退治すると言うのです。桃太郎は、鬼退治の旅の途中で雉と犬と猿に出会います。

私は、桃太郎、雉、犬、猿は、大人へ自立するための能力を実は示していると思います。私なりに分析すると・・・

雉は、上空から鬼ヶ島を探る力、つまり「洞察力＝問題を見抜く力」です。

犬は、激しく鬼に食いついていく力、つまり「意志力＝最後までやり抜く力」です。

猿は、鬼の館をよじ登り、門を開ける賢さとすばやさ、つまり「判断力＝切り抜ける力」です。

そして、桃太郎は、鬼という強大な力に対抗するためのリーダーシップやアイデア、もちろん人間性も含め、つまり「思考力＝全体を統率する力」です。

このような 4 つの能力が大切だと教えられていると思います。

また、「桃太郎はなぜ鬼退治に行こうと思ったのか」という問いについて考えてみてください。それは、「自分のことだけでなく、まわりの人のことを考える」ということにつながるでしょう。

そしてまた、「桃太郎はいつリーダーになったのでしょうか」という問いについて考えてみてください。それは、雉、犬、猿がお供、つまりフォロワーになった時です。ここで大事なのは、フォロワーがいなければ、リーダーは生まれえないということです。

雉、犬、猿が桃太郎のフォロワーになった理由は、桃太郎の鬼退治という志が素晴らしいと思ったことや自分たちの能力を生かしてくれると思ったこと、そして桃太郎の人間性、信頼できる人と思ったことなどでしょう。おそらく、桃太郎は最初からそうしたリーダーであったのかわかりません。しかし、フォロワーが何を素晴らしいと思うかが影響し、よいリーダーになっていったのではないのでしょうか。

私は、よいリーダーはよいフォロワーになれるし、よいフォロワーはよいリーダーになれると考えています。人はそういう相互作用の中で成長します。だから中高生年代では、リーダーの経験もフォロワーの経験も大切です。柔軟な形でみなさんに両方の経験を積んでほしいと思います。

《ポイント》

(1) 「リーダーとは」をしっかりと考える

クラス委員・係等の選出のとき、リーダーとはどんな人なのかを皆で理解する。リーダーとフォロワーは関係のあり方であって、お互いの立場を無視しては成り立たない。育成年代では、両者の隔たりは少なく、場面、場面、時と場合によって立場が入れ替わったりする。

つまり、「誰もがリーダーであり、フォロワーである」

- ・積極性がある，アグレッシブリーダー
- ・よい意見を発信する，ゲームメーカーリーダー
- ・あたたかい雰囲気をつくる，ムードメーカーリーダー

## (2) 魅力のあるリーダーとは

- ① 仲間の不満や気分，要求を感じとり，そのリーダーと話し合ってみたくてという気持ちを起こさせるリーダー
- ② 仲間と打ち解けて遊ぶことのできるリーダー
- ③ 安心してついていける，真面目で，誠実なリーダー
- ④ 笑ったり，泣いたり，怒ったりすることができ，話の仕方が上手で表情を見ているだけで楽しくなるリーダー
- ⑤ 仕事をよくやり，最後までやり通すリーダー
- ⑥ 気持ちのでっかい，小さなことでイライラしたりくよくよしたりしないリーダー
- ⑦ 愚痴っぽくなく，ひとりよがりしないスカッとしたリーダー
- ⑧ 1ヶ月くらい先の見通しを示してくれるリーダー
- ⑨ 仲間を言葉ではなく，事実で信頼してくれるリーダー
- ⑩ 仲間の前で約束したことをやり通すリーダー
- ⑪ 親切で，わかりやすく，やる気が起こるように話をしてくれるリーダー
- ⑫ 間違えたときは意地をはらなくて，誰からいわれてもすぐに認めて誤りを直すことのできるリーダー

※ 「それぞれ，誰が当てはまるかな？理由も考えて」「自分自身はどうか？」「卒業までにどのリーダーシップを身に付けたい？」みんなで教室の事実を確認してほしい。

## (3) リーダーシップとフォロワーシップの意識化

相手を知り，相手の立場に立って初めてリーダー性が身に付く。それは，一人一人「**見えている世界**」が違うからです。リーダーとフォロワーは集団のつながりの中に置かれていて，とても近い距離にあります。よいリーダーになるためには，よいフォロワー経験が不可欠です。



この意識を高めてから，「こんなクラスにしたい」「こんなクラスはイヤだ」という話し合い活動を行うといいと思います。これが，お互いを認め合う関係づくりになり，クラスのルールやマナーづくりの話し合いがスムーズにいくことにつながっていきます。

### 集大成の学期です

「桃太郎」の話で私が言いたいことは，「4つの力」を意識して伸ばして行ってほしいということと，たとえリーダーになっていなくても，フォロワーとして誇りをもって学校生活を送ってほしいという願いです。

